

株主のみなさまへ

第188期 第2四半期報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



秩父鉄道株式会社

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素から当社および当社グループの事業に対して格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）におけるわが国経済は、経済対策の効果等により一部に景気の持ち直しの動きが見られるものの、依然として高い失業率や賃金の抑制、個人消費の低迷等により、厳しい事業環境が続きました。

このような状況のもとで、当社グループは輸送の安全確保を最優先に、一層のサービス充実を図り、鉄道事業、観光事業を中心に積極的な営業活動を推進するとともに、経費の節減並びに経営全般の効率化の取組みを続け、収益と利益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,785百万円、前年同期に比べて2.4%減少いたしました。営業利益は100百万円、経常利益は75百万円、四半期純利益は63百万円となりました。

今後も、当社及びグループ各社は積極的な経営に全力で取り組み、業績の向上に努めてまいりながら、内部統制の体制強化を図り、企業の社会的責任を果たしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 **荒 船 重 敏**

事業の概況

当社グループは、鉄道事業、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を営む当社と子会社6社で構成されております。

当第2四半期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

旅客部門は、花めぐりや体験型のスタンプラリーの開催をはじめ、サイクルトレインの定期運行、SLファンに人気の門鉄デフの装備や松本零士氏を迎えての特別イベント「銀河鉄道999 in 秩父」の開催など沿線市町や観光施設と連携した営業活動を実施いたしました。

しかしながら、個人消費の低迷や猛暑の影響により旅客収入が減少いたしました。

貨物部門は、公共工事および民間の設備投資の落ち込みによる国内のセメント需要の低迷により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、営業収益は1,628百万円、営業損失は80百万円となりました。

不動産事業

小前田駅北西部区画整理地内の土地分譲は、積極的な営業活動を行いました。契約が伸び悩み低調に推移いたしました。

また、テナント等賃料は景気低迷の影響を受け下落傾向にあり、不動産賃貸収入は減収となりましたが、営業収益は267百万円、営業利益は139百万円となりました。

観光事業

「観光地ながとろ」をアピールしたキャンペーンを開催し長瀨駅周辺の観光施設とコラボレーションし観光客の誘致と増収施策につとめました。しかし、猛暑の影響で観光客の出足も伸び悩み、営業収益は194百万円、営業利益は33百万円となりました。

バス事業

個人消費低迷の影響により営業収益は伸び悩み254百万円、営業利益は22百万円となりました。

その他事業

その他事業におきましては、営業収益は641百万円、営業損失は17百万円となりました。

四半期連結貸借対照表 (要旨)

平成22年9月30日現在

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,522	流動負債	3,329
現金及び預金	759	支払手形及び買掛金	175
受取手形及び売掛金	255	短期借入金	1,164
分譲土地建物	417	その他	1,989
その他	90	固定負債	11,387
固定資産	21,226	長期借入金	3,009
有形固定資産	20,841	繰延税金負債	76
無形固定資産	26	再評価に係る繰延税金負債	6,080
投資その他の資産	358	退職給付引当金	1,704
		その他の引当金	74
		その他	440
		負債合計	14,717
		(純資産の部)	
		株主資本	△632
		資本金	750
		資本剰余金	22
		利益剰余金	△1,378
		自己株式	△25
		評価・換算差額等	8,652
		その他有価証券評価差額金	112
		土地再評価差額金	8,540
		少数株主持分	11
		純資産合計	8,031
資産合計	22,748	負債純資産合計	22,748

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (要旨)

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	2,785
営業費用	2,684
営業利益	100
営業外収益	28
営業外費用	53
経常利益	75
特別利益	3
特別損失	4
税金等調整前四半期純利益	74
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	△0
少数株主利益	△0
四半期純利益	63

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

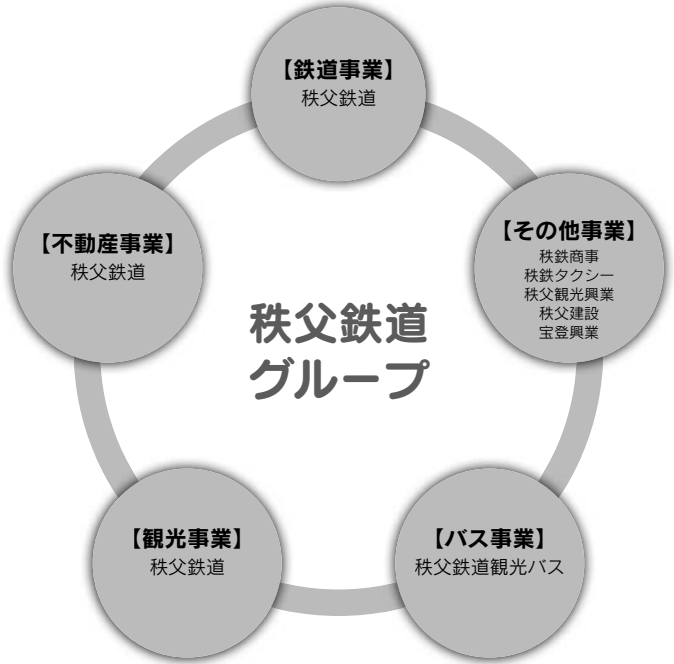
平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

(単位：百万円)

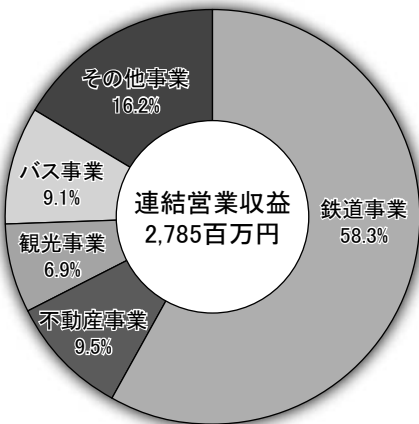
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102
現金及び同等物の減少額	△88
現金及び同等物の期首残額	844
現金及び同等物の四半期末残額	755

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結決算上のセグメント分類



■ 部門別営業収益構成比



役員 (平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	荒 舩 重 敏
常務取締役	鎌 倉 良 之
取締役	赤 岩 一 男
取締役	大 谷 隆 男
取締役	中 山 高 明
取締役	四方田 俊 男
常勤監査役	野 口 彰 一
監査役	杉 山 一 彦
監査役	相 澤 伸 彦

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒137-8650
(郵便物送付先 お問い合わせ先)	東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 TEL 0120-707-842 (フリーダイヤル)
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞
单元株式数	1,000株
ホームページ	http://www.chichibu-railway.co.jp
皆様へのお願い	住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が間違いなく届きますよう、お早めに上記株主名簿管理人にお手続きください。

株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を発行いたします。

1. 優待乗車証（定期券式）

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
15,000株以上 21,000株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
21,000株以上	当社電車全線および索道（宝登興業株式会社・宝登山ロープウェイ）全線優待乗車証	1枚

※有効期間・・・6月1日から1ヵ年間（5月下旬発送）

2. 優待乗車証（回数券式）

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	ご優待の種類	発行枚数
1,000株以上	当社電車全線優待乗車証	2枚
3,000株以上	当社電車全線優待乗車証	4枚
5,000株以上	当社電車全線優待乗車証	6枚
10,000株以上	当社電車全線優待乗車証	10枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間（6月下旬発送）

3. 優待割引券

ご所有の株式数が1,000株以上の株主様に、優待割引券を発行いたします。

ご優待施設	ご優待の内容	発行枚数
長瀬ライン下り	乗船料金の5割引	各施設共通 割引券5枚
宝登山小動物公園	入園料の5割引	
有隣倶楽部	御食事代の5割引 （お飲物は除く）	
ガーデンハウス有隣	御食事代の5割引 （お飲物は除く）	

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間（6月下旬発送）



秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町1丁目1番地

TEL 048-523-3311 (代表)

URL <http://www.chichibu-railway.co.jp>